SDGs新聞	JR西日本（西日本旅客鉄道株式会社）

電車に乗ると、地球がよろこぶ！？

SDGsラジオを読んでみよう！

電車は地球にやさしい乗りものだと、聞いたことはありませんか？
電車は電気で走るため、車などに比べて二酸化炭素を出す量が少ないんです。
しかし、その電気をつくるときには、二酸化炭素を出す石油や石炭が使われることもあります。
そこで、鉄道会社の「JR西日本」では、電車や新幹線を、もっと地球にやさしくする工夫を進めています。
たとえば、電車や新幹線、駅などで使う電気を太陽光や風の力でつくったものに変えたり、
電気ではなく燃料で動く列車では、その燃料を植物から生まれたものにしています。
また、そんな電車や新幹線を選ぶ人が増えるように、移動が便利になるアプリや、電車での旅行を楽しめるサービスも提供しています。
二酸化炭素の量をおさえて、もっと地球にやさしい未来へ。みなさんも、おでかけのときには電車を選んでみてはどうですか？

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：他の乗りものに比べてCO2の排出量が少ない鉄道（「Switch！SUSTAINABLE TRAIN」ポスター）



電車や新幹線などの鉄道は「地球にやさしい乗りもの」だといわれています。電車はガソリンではなく電気で走るため、車などに比べてCO2（二酸化炭素）の排出量が少ないことが大きなとくちょうです。また、一度にたくさんの人を運べることも、鉄道が地球にやさしい理由のひとつです。少ないエネルギーで多くの人を目的地まで運ぶことができるため、1人あたりが出すCO2の量を少なくすることができます。1km移動するときに出るCO2の量を比べると、鉄道は自動車や飛行機の5分の1以下といわれています。しかし、電車を走らせるための電気をつくるときには、CO2を出す石油や石炭が使われることもあります。

そこで、鉄道会社の「JR西日本」では、電車や新幹線を走らせる電気を、太陽の光や風などからつくられた「再生可能エネルギー」の電気へと少しずつ変えています。大阪環状線やJRゆめ咲線では、2024年から100%再生可能エネルギーでつくった電気での運行がはじまりました。再生可能エネルギーは、駅や駅ビルでの利用も進められています。また、車内の照明をLEDに変えたり、少ない電気で走れる新しい車両を増やしたりして、電気をむだなく使う工夫にも取り組んでいます。さらにJR西日本では、地球にやさしい鉄道を選ぶ人が増えるように、切符を買ったり電車の情報を調べたりできる便利なアプリや、鉄道での旅行を楽しめるサービスも充実させています。鉄道をもっと地球にやさしい乗りものにし、そんな鉄道を選ぶ人が増えていくことは、CO2の量を減らし、地球の未来を守ることにつながっていきます。

画像参照：地球にやさしい鉄道と、持続可能な未来のまちのイメージ
（JR西日本「Switch！SUSTAINABLE TRAIN」HPより）

キーワード

CO2

石油や石炭、ガソリンをはじめ、ものを燃やしたときに出る「二酸化炭素」という気体のことです。地球がだんだんあたたかくなる原因のひとつになります。

再生可能エネルギー

太陽光や風力、水力などの自然の力を利用した、何度でも使えるエネルギーのことです。環境にやさしいエネルギーです。

LED

少ない電気で明るく光る照明のことです。長く使うことができ、電気をむだなく使えるため、省エネルギーにつながります。

対象ゴール



みなさんにできること！

おでかけのときには、地球にやさしい鉄道を選んでみましょう。

おさらい

- 電車や新幹線などの鉄道は、CO2を出す量が少ない、地球にやさしい乗りもの。
- JR西日本では、鉄道をもっと地球にやさしくするための取り組みを進めている。
- JR西日本は、鉄道で使う電気を再生可能エネルギーでつくられたものに変えている。

メモ

SDGs ラジオ